

## 日本の林業の現状と未来

〒399-5302  
長野県木曾郡南木曾町吾妻 1187  
南木曾木材産業(株)  
代表取締役 柴原 薫  
<http://www.nagiso.co.jp>  
Eメール:kao@nagiso.co.jp

### ① 日本の林業の現状

50 年の杉の立木 1 本 200 円  
50 年の桧の立木 1 本 400 円  
1 年で出来る大根 1 本 200 円

立木の搬出量 12,000~18,000 m<sup>3</sup>  
林業従業者 20 万人といわれるが、現在 3 万~3 万 54 人 (平均年齢 60~63 歳)  
年間木材生産高 3,600 億円  
年間きのこ生産高 3,800 億円

### ② 日本の林業の現状

中国人が日本杉を買ってくれる相場は (商社実績)、  
原木なら 140 ドル (11,000 円) ¥78 円  
製材なら 190 ドル (15,000 円) 【CIF 中国の港渡し 立米あたり】

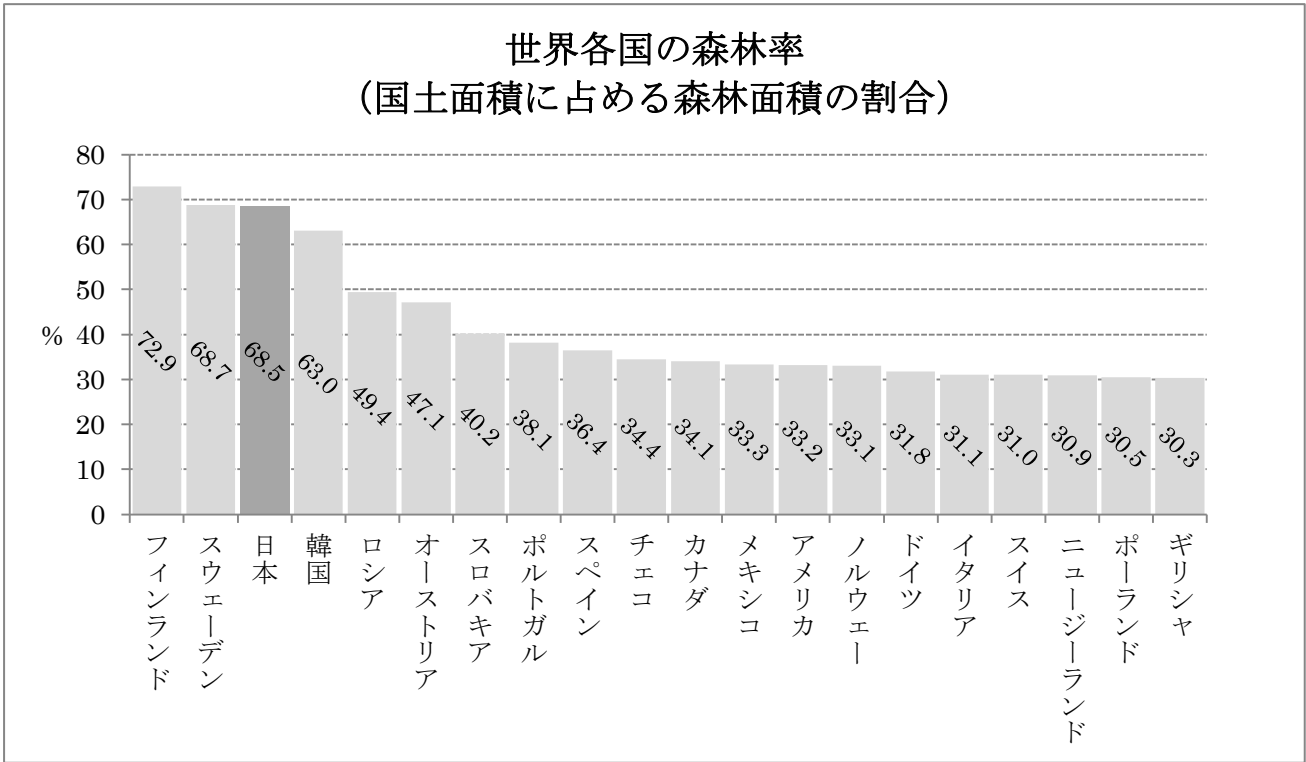
中国が世界から買っている価格は、  
ロシア丸太 130 ドル  
ニュージーランド丸太 140 ドル  
アメリカ丸太 270 ドル  
カナダ製材品 200 ドル

日本木材の製材量は年間 1 千万立米。  
割り箸 1 本はたったのティッシュペーパー 2 枚分。  
駅前でタダで配られるティッシュは割り箸何本分でしょうか？

世界の木材生産量は 36 億立米。半分が薪 (たきぎ) で使用され、製材合板などの用材が 17 億立米。貿易されているのは 4 億立米。

世界の年間木材消費量は、  
日本 6,300 万立米 (国民一人 0.5 立米 この 10 年で半減)  
韓国 2,600 万立米 (国民一人 0.5 立米 日本と同じです！)

北米 6 億立米（米国住宅低迷でしばらく変わらない）  
 EU 3 億立米  
 中国 2 億立米（2015 年までに 4 億立米に増加！）

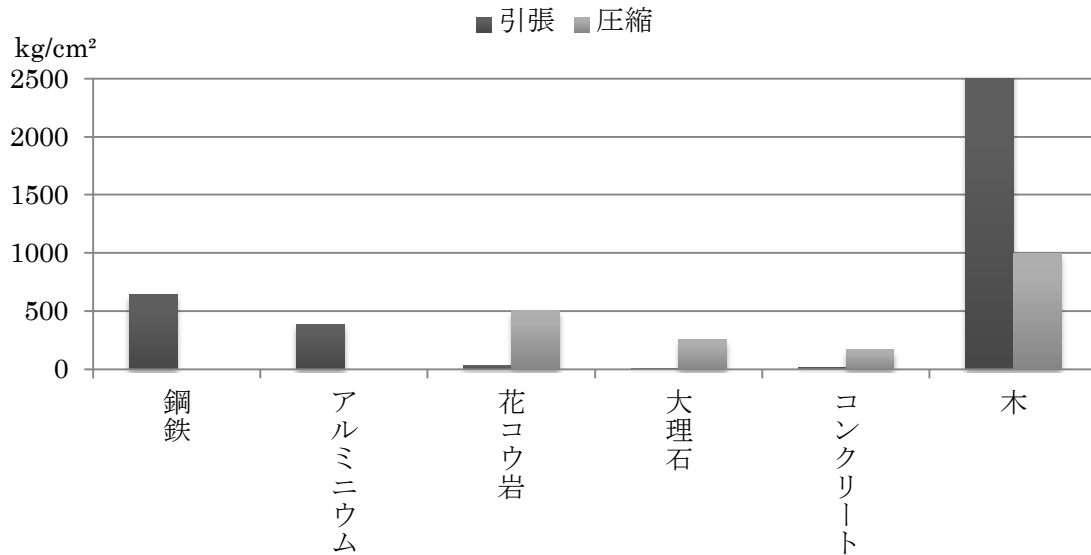


### ③ 日本の林業の未来

- 永続する林業の為には相続税と固定資産税の負担が重石となっている。
- 海と川と空、そして森はつながっていると感じている人が増えている。チュニジアのアジの味は？
- 山林の CO2 売買は日本ではあるのか？
- 国有林は生産林ではなく、森林管理署と名乗っている。昔は営林署といていたが、その違いは？
- 森林セラピーと林業はベクトルが一緒なのか？
- 中国人たちが日本の森林を買う。目的は何か？
- トヨタが三重県の森を買ったのはなぜか？
- 合板・集成材を使う家は木造の家なのか？
- 宮大工と伝統木構造大工・在来工法大工の将来は？
- 問題は工務店のお客様に対する弱腰と木造を知らない設計士にある。
- 価値観が震災で変わった。しかし、その要望に応えられるか鍵になると思う。
- 木材は地震に本当に強いのか？～新宿センタービル（昭和 54 年大成建設竣工）は 40 年で限界！？～昔から、鉄は強く、木は弱い素材といわれています。例えば、1 cm 角の鉄の棒と木の棒を引きちぎろうとしたとき、鉄の方が丈夫なのは確かです。しかし、実際に材料を使用するときのことを考えると、これは必ずしも当たりません。それは鉄が重すぎるからです。重さ当たりの強度を考えると、木の方がかなり強くなります。

下の図は、いろいろな建築素材の強さを比重で割った比強度と呼ばれる値が記してあります。同じ重さで木と他の素材を比較したとき、引張強度は鉄の約4倍になります。圧縮強度は花コウ岩の約2倍、コンクリートの約5倍以上もあります。しかも、鉄やコンクリートなどのように年数がたつと強度が低下する素材と違い、木は乾燥した状態を保つことで大変長持ちします。

### 各種素材の重さ当たりの強度比較（比強度）



- 又、個室文化は限界に来ている。家族・絆も見直す時代に来ている。